

広報さくら

◆◆第99号◆◆

平成27年3月1日

発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| ○卒業に寄せて…………… 学校長 …… 2 | ○誠祭バザー・お茶処報告…………… 9 |
| ○一年を振り返って…………… 会 長 …… 3 | ○体育祭…………… 10～13 |
| 「2014山梨私学のつどい」のご報告 | ○強歩大会…………… 14 |
| ○夏季研修会報告…………… 4 | ○強歩大会支援活動報告…………… 15 |
| ○誠祭…………… 5～8 | ○後援会活動報告…………… 16 |



3年生卒業おめでとうございます。まずは、お子様が本校の課程を無事終了し、ここに新たな出発点に立たれたことを心から祝福申し上げます。

3年前の若木は大地にしっかりと根を張り、養分を吸収し、枝を伸ばし、年輪を刻み、高みに向かって成長をしてきました。そして、その成長は周囲の力、とりわけ陰で支えてこられた保護者の力があってこそです。これまでのご苦勞に敬意を表します

とともに、今後もお子様を「付かず離れず」適当な距離をもって見守っていただきたいと思います。

かつての三者面談での経験です。ある母親が「この子には世の中に貢献できる、人のために生きる人間になってほしい」と言われました。そして、生徒は上履きのない母に自分の上履きを与えて裸足でいるのです。我が子にこのように諭す母親と生徒の行為に動かされるものがありました。

人は皆それぞれが、かけがえのない存在意義をもってこの世に生を受けました。生徒各人が持つ能力を十分に発揮し、有為な人材として活躍されることを教職員一同祈念いたします。

最後になりますが、これまでの本校に対するご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも本校を叱咤激励していただければ幸いに存じます。

私も卒業です。一年間どうもありがとうございました。



皆様には日頃より後援会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。平成26年5月10日の後援会定期総会において会長に就任し、早いものですでに2月。もう少しで一年を経ようとしています。

思い起こせば、緊張した中での総会挨拶に始まり、最初の事業である日本大学への研修会では、今年度は法学部と経済学部へ伺いました。大学の関係者の皆様には、お忙しい中、それぞれのキャンパスの案内と詳しいご説明をいただきました。来年度には、日大明誠から法学部・経済学部に進む子供たちもいるかもしれませんが、その節はよろしく願いいたします。との想いで見学をさせていただきました。

そして、誠祭支援バザー。一昨年在台風の影響から二日目の途中で誠祭自体の中止を余儀なくされたので、今年は「台風など発生しないでくれ」と祈りつつ迎えた誠祭でした。この祈りが通じたのか、お陰様で天気にも恵まれバザーも大盛況となりました。ご協力いただいた後援会の皆様や先生方、同窓会、また後援会OB、そして地域の皆様とも有意義な交流が図



れましたこと、心より感謝いたします。また、当日行われた、ギネスに挑戦企画(1000人を超える指相撲)

にも協力しました。惜しくもギネスへの登録には至りませんでしたが、次回の挑戦に期待したいものです。

今後の事業としては、強歩大会支援事業と卒業謝恩会の開催があります。昨年の強歩大会は大雪の影響で中止となりましたので、今年は雪が降らないでほしいと、今から祈っております。そして無事終了する事を願っています。最後の事業が卒業謝恩会。今から既に、卒業式の事を考えると緊張気味ですが、卒業謝恩会では子供たちが3年間お世話になった先生方に、私たち保護者より感謝の気持ちをお伝え出来ればと思っています。これらの事業が全て終了すると、私も子供たちと同様に日大明誠高校後援会からの卒業です。この3年間、後援会を通じてたくさんの方々と出会い、いろいろな事業を行いました。また、野球やサッカーの試合の応援にも行かせていただきましたが、子供たちの澁刺としたプレーには熱く心を打たれたことを思い出します。

まだまだ、様々な思い出などありますが、すべての事業は、先生方を始め、後援会の皆様などたくさんの方々のご協力とご支援があったからこそ、なんとかやって来れたものだと思います。改めて皆様に感謝を申し上げます。最後になりましたが、これからの日大明誠高校と後援会が益々発展して行くことを祈念し、この一年間の報告とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

「2014山梨私学のつどい」のご報告 研修部部長 毛利 克輝

後援会研修部として平成26年10月11日(土)に山梨学院大学のメモリアルホールで行われました「2014山梨私学のつどい」に参加して来ましたのでご報告させていただきます。

当日は八王子から車2台、都留から車1台、上野原から車1台の計16名で山梨県甲府市の山梨学院大学に向かいました。

本年度の「2014山梨私学のつどい」は大会スローガンとして

- ・新時代にふさわしい個性豊かな教育の充実
 - ・私立学校運営費補助制度の堅持と拡充
 - ・教育費保護者負担の公私間格差の是正
 - ・幼稚園就園奨励費補助制度の堅持、充実と完全実施
- となっており山梨県知事はじめ県議会議長・県議会

議員並びに県教育委員行政関係の方々を招き私学復興の呼びかけを行いました。

会場には約850名の参加者がおり皆様に協力いただいた署名簿も知事に手渡されました。

また演題「社会の変化と日本の教育」と題して文部科学事務次官の山中伸一氏による基調講演も行われ盛大のうちに終了致しました。

中村後援会会長、後援会の方々のご協力により「2014山梨私学のつどい」を通じて、会員相互のより一層の親睦、交流も図ることができたと思います。



今年の後援会研修部会は、平成26年6月28日(土)に日本大学法学部並びに経済学部を見学に行く事になりました。

当日は小雨が降り、6月の下旬としては肌寒い日の中、大型バス2台を貸切り、日大明誠発の1号車と八王子駅南口発の2号車が石川パーキングで合流し、そこで学部別のバスに分かれて目的地に向けて出発しました。

約1時間後に日本大学に到着し、写真撮影を経て学部ごとに別れて説明会及び施設見学を行いました。法学部へは前嶋校長先生をはじめ中村後援会会長と教職員の皆様、後援会委員、役員、経済学部へは奥秋教頭先生、教職員の皆様、後援会委員、役員の総勢約60名での研修になりました。

経済学部では、モニターで学部の様子を分かりやすく丁寧に説明をしていただき、実際のゼミでの授業も見学させていただきました。とても熱心で積極的な授業の様子に、とても驚き、感心しました。

法学部の方も、同じくモニターを使った説明と7月のオープンキャンパスに向けての模擬裁判の練習をしている授業を見学させていただきました。本番に向けて熱心に練習をしている学生の姿に胸

を打たれました。

両学部とも、通学にとっても便利な立地にあり、就職活動にも有利な場所でダブルスクールも可能だとの事です。

この素晴らしい環境の中で学ぶ事が出来る学生は、とても恵まれていると思います。是非、日大明誠の生徒達にも両学部を目標に勉強に励んでいただきたいと強く思いました。

学部研修後、徒歩で東京ドームホテルへ移動し、最上階のアーティスカフェにて昼食をとりました。

都内が一望出来る素敵な景色の中で地中海buffetスタイルのランチを載きながら、現地合流された方も加わり全員揃っての食事となりました。今年は、1～2年生の保護者の参加が多くご夫婦や、お子様連れの方もいて、とても和気あいあいとした雰囲気です。

夕方、八王子駅で解散し、反省会をかねた意見交換会を行い、校長先生をはじめ、色々な方々から、貴重なご意見や反省をいただきました。このご意見や反省をもとに来年の研修にいかしていきたいと思っています。

ありがとうございました。











後援会主催事業のバザーを、本年度も9月13日、14日開催の誠祭にて行いました。

当日の天候を気にかけながら、12日の前日準備を迎えました。最近は何処のバザーも品集めや、質の低下で苦労していると聞きます。時代の流れの中で仕方の無い事なのかもしれませんが、明誠高校文化祭においては、皆様の協力のおかげで例年並みの品数を確保することが出来ました。

いよいよ本番を迎えるにあたり、心配していた天候にも恵まれ、清々しい秋空の下2日間を過ごす事が出来ました。

毎年恒例のバザー事業も、生徒達が日頃お世話になっている地元の方々に浸透してきました。毎年楽しみに来られるお年寄りの姿、掘り出し物を見つけた時の嬉しそうな笑顔を見た時、バザー事業の意味合いを感じる事が出来ました。お茶処も

天候に恵まれた事もあり沢山の方々に利用頂きました。又、多くの生徒達にも利用してもらい笑顔が絶えない楽しい会場となりました。

あわただしい2日間でありましたが、地域の皆様方とのコミュニケーションも図ることができ、何よりも、誠祭に係わった皆様方との絆が深まった事が最大の成果だったと思います。皆様ありがとうございました。

商品の提供や準備から販売までご協力いただいた関係各位の方々をはじめ、野球部・サッカー部の保護者会、後援会OBの皆様方、教職員の皆様方からもたくさんの商品をご提供頂きました。重ねてお礼申し上げます。

これからも子どもの成長を肌で感じる事ができ、学園生活を垣間見る事のできる後援会活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。





開会式



準備体操



80m徒競走



色別二人三脚リレー



玉入れ



大縄跳び



障害物競走



障害物競走



棒倒し



大縄跳び



クラス対抗全員リレー





部対抗リレー



綱引き



色別対抗応援合戦



大縄跳び



ムカデ競走



台風の日



棒引き



騎馬戦



色別対抗リレー



閉会式



本年度の強歩大会は、2月21日(土)に行われました。昨年度は大雪の影響で大会が中止でしたので今年も天候が憂慮されましたが、好天のもと無事に開催することができました。

この日のために実行委員会が取り組んだのは、3ヶ月程前からです。地元、上野原の委員を中心に食材を調達しつつ、上野原風の味付けの豚汁を1,000食用意するために何度も話し合いを重ねました。大会前日にも大勢の役員、委員の皆様にお集まりいただき、テント張りや器材の準備、調理の仕込みなどを行いました。

大会当日は、野球部とサッカー部の保護者の皆様に協力をいただきながら、先生方とともに、生

徒たちが一生懸命に走る行程で安全確保のための誘導や励ましの応援を行い、大会を安全かつ明るく盛り上げることができました。

また、生徒たちがゴールした後は、用意しておいた豚汁、おにぎりを振る舞いました。14kmを走り終えた生徒たちも、おにぎりを頬張りながら温かい地元の味の豚汁に舌鼓を打ち、疲れを吹き飛ばすことができたようでした。

最後に大会の支援に協力していただいた役員、委員、保護者の方々、また、運営に尽力くださった先生方に厚く御礼申し上げます。

これからも後援会活動にご理解、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



第1間：山本 翔平先生 第2間：大森 康勝先生 第3間：油野 雅子先生

ちよこっとクイズ

第1問

この先生は誰でしょう？



ヒント

学生時代から
イケメンですね。

第2問

この先生は誰でしょう？



ヒント

ウエストに付けた
「変身ベルト(?)」。
それなりの
時の流れを感じます。

第3問

この先生は誰でしょう？



※前列左側の女性です。

ヒント

すでに聡明な雰囲気
が漂っていますね。

クイズの答えは15ページの下にあります。

平成26年度 後援会活動報告

平成26年

- 5月 後援会定期総会
第1回役員会
- 6月 第2回役員会
第1回委員総会・学年別委員会
後援会研修会
- 7月 「広報さくら」第98号 発行
- 9月 第3回役員会
祭典パトロール
誠祭バザー・お茶処 準備
誠祭バザー・お茶処 実施
- 10月 体育祭

私学のつどい

- 12月 第4回役員会
第2回委員総会・学年別委員会

平成27年

- 1月 賀詞交歓会
- 2月 強歩大会豚汁 準備
強歩大会豚汁 実施
- 3月 卒業式・卒業謝恩会
「広報さくら」第99号 発行
- 4月 入学式
第5回役員会

～編集後記～

今年度も無事に「広報さくら」を発行出来ました事を広報部員一同、心より感謝申し上げます。

また、お忙しい中、原稿をお寄せ下さった先生方、後援会の皆様、発行にあたりご協力頂いた方々に心よりお礼を申し上げます。

日頃学校に足を運ぶ機会の少ない保護者の皆様に少しでも学校での生徒たちの様子を伝えられるよう努めてまいりました。一つでも目に留まった情報があれば幸いです。

皆様からのご意見、ご感想、ご要望などありましたらお知らせ下さい。今後の参考にさせていただきます。1年間、ありがとうございました。(広報部員一同)

